

トルコリラについて

<リラは過去最安値を更新>

米国の量的緩和縮小を巡る思惑から、新興国からの資金流出が加速し、新興国通貨が対米ドルで下落する状況が続いています。特に大幅な経常赤字を抱える国の通貨の下落率が大きくなっています。

トルコリラは21日、1米ドル=1.979リラに下落し、今年7月につけた対米ドルでの過去最安値を更新しました。(終値ベース)

20日(現地時間)、トルコ中央銀行(以下、CBRT)は2会合連続で翌日物貸出金利の引き上げを決定し、金融引き締め姿勢を強めました。しかしリラ安や高いインフレ率等への市場の懸念を払拭するには不十分だったと見られ、トルコの株式市場が3%超下落するなど、資金流出の動きが強まりました。

<金融引き締め強化>

CBRTは20日の金融政策決定会合で、政策金利である1週間物レポレート、翌日物借入金利を各々4.5%、3.5%に据え置く一方、翌日物貸出金利を0.5%引き上げ、7.75%としました。

2011年10月以降、CBRTは上限金利*と下限金利**の金利差(金利コリドー、右図参照)による銀行間金利の誘導に重点をおいた金融政策を行っています。

*上限金利: 翌日物貸出金利、**下限金利: 翌日物借入金利

声明文では、インフレ率が中期目標(5%)に一致するまで引き締め姿勢を維持し、必要であれば追加的な引き締めを行うと述べています。

CBRTは翌21日にも、更なる通達があるまで毎日、金融引き締めオペを実施し、最低1億米ドルの米ドル売り入札を行うと発表しました。

<中銀の政策等がリラを下支え>

米国の量的緩和縮小が年内にもはじまるとの見方が強まる中、トルコでは、改善傾向にあるものの依然として経常赤字が大きいほか、7月の消費者物価指数も前年比+8.88%となりインフレ率が上昇しています。

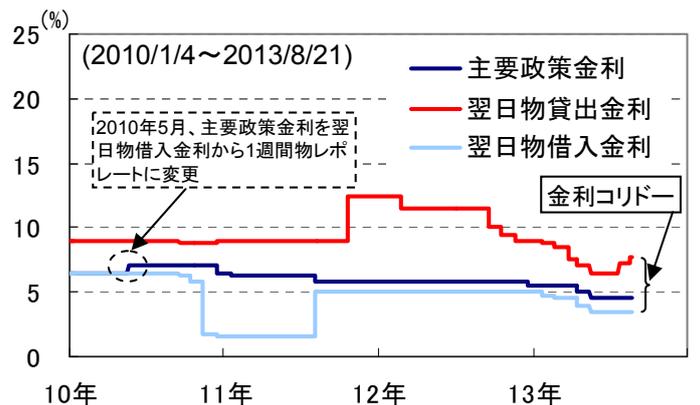
そのため、対米ドルではリラ安基調が続くと見られますが、相対的に高い金利水準や、CBRTの金融引き締め姿勢の強化、通貨政策はリラを下支えと思われる。

また、対円では中長期的に円安傾向が続くと考えられることから、リラは底堅く推移すると思われる。

<トルコリラ為替の推移>



<トルコ政策金利等の推移>



*政策金利等は発表日ベース

出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

商号等
加入協会

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%（但し、最低2,625円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会